VCCI だより

2010.4. No.96

一般財団法人 VCCI 協会

VCCI だより
No.96　2010.4

目　　次

寄書　　手話を知り　人を知る
一般社団法人 日本手話通訳士協会会長　小椋　英子 …· 1
委員会等活動状況 ……3
● 運営委員会……3
● 技術専門委員会 ……3
● 国際専門委員会 ……5
● 市場抜取試験専門委員会……6
● 広報専門委員会 ……7
● 教育研修専門委員会 ……7
● 測定設備等審査委員会 ……8
● 委員会活動報告 略号集……9
新連載　技術資産を訪ねて　第 3 回
電信・電話の遺産を訪ねて　常深　信彦 …· 11
2010 年度 VCCI 規程説明会・技術シンポジウム開催報告 ……16
2009 年度市場抜取試験実施結果……23
事務局だより ……24
1. 会員名簿（2009 年 11 月～2010 年 1 月） ……24
VCCI 2009 年度スケジュール ……25
2. 適合確認届出状況（2009 年 11 月～2010 年 1 月） ……26
3. 測定設備等の登録状況 ……27
4. VLAC 認定試験所の認定状況……34
推薦図書（若手エンジニアの皆さまへ） ……36

寄 書

手話を知り　人を知る

一般社団法人 日本手話通訳士協会会長
小椋　英子

私が手話を学び始めたのは 35 年も前です。その数年後、手話通訳の資格をとり手話通訳者として活動をするようになりました。現在では多くの人に「手話」の存在は知られていますが、当時は「手話って何?」とよく人に聞かれました。周囲の人は私のことを「なんで手話なんか学んでいるの。変わった人」と見ていたようです。

「手話」は聴覚障害者が使用する言語のひとつで、主に幼少時、日本語習得前に聴力を失った人たち（ろう者）の主なコミュニケーション方法です。「手話通訳」とは、手話を母語とするろう者と、その話し相手の意思疎通を手話を用いて仲介する行為です。その通訳場面は医療、教育、労働、自治体、会議等多岐に亘っています。

手話通訳者に必要な力は何かと、よく質問されます。もちろんいろいろな能力が必要ですが、わたしはなんといってもろう者のことをよく知っていること、つまり、対象者を知るという意識や力が必要だと答えています。どの専門職も同様に、手話通訳者も資格を取得しただけでは、まだ本当の意味で手話通訳者とはなっていません。経験から素直に学べる柔軟な感性を持ち、挫折や実践を積み重ねる中で、手話通訳者としての自分を創り上げていくものなのです。

恥ずかしながら、私は手話通訳者になった当時、聞こえない人は「ただ音が聞こえないだけ」だと思っていました。社会にはさまざまな音があります。家族の会話、会社での会話、ご近所との話、テレビの音、ラジオからの音、他にも環境音、数えたらキリがありません。聞こえる人たちは意識して聞く努力をしなくとも自然に聞こえています。これらは単なる音ではありません。情報なのです。どれも人間が社会で生きていくために、また、人間関係を作っていくために大切なものです。

ある時、こんな相談がろう者の女性から持ち込まれました。「私の息子は今年で小学校 6 年生になる。しかし、私は今までに一回も授業参観に行ったことがない。小学校を卒業する前に絶対に授業参観に行きたい」というものでした。子どもの授業参観に行くなど、普通に親の誰もがしていることができないなど考えられませんでした。聞こえないお母さんが学校に来たら、息子が恥ずかしいだろうという理由で、同居している祖父母が彼女が行くことを止めていたのでした。その後、彼女は手話通訳者を依頼し、祖父母と話し合い親としての自分の気持をぶつけたのです。

また、ある時は事業所からの依頼でした。その事業所の班長がろう者の従業員と話し合いたいというもので、私が派遣されていきました。班長の話は、ろう者の従業員が仕事中に奇声を発して困る。何回

も注意しているが直してくれないというものでした。その旨通訳して伝えると本人は戸惑いの表情で、手話でこう答えました。私は自分の声が聞こえないので、声が変だと判断がつきません。隣の人に仕事を聞きたいと思って、自分なりに声を出して聞いていただけなのです……。聞こえないということは自分の耳で声を確認できないので、発声も不明瞭になってしまうものなのです。

これらのことは、聞こえない人は「ただ音が聞こえないだけ」と思っていた私に本質的なことを教えてくれました。聞こえないことにより、家族との意思疎通もうまくいかない。また、何が不便なのか外見ではわかりにくく、前述した事業所のように、一見非常識な人と誤解されてしまうこともある。聞こえないために起こる二次的問題の方がずっと深刻なのだと思い、人を観ることの大切さを痛感しました。

ろう者が抱えている問題の一つは、聞こえないことによる情報不足や、コミュニケーションの困難さを理由に社会的弱者になってしまうことです。手話通訳者としてろう者の社会的背景を知っていることは大切なことです

手話通訳者はさまざまな人の思い、考え、価値観の中に入って通訳をします。

ろう者とその話し相手の間に入って通訳をするということは各々の思いを紡いでいく作業でもあります。このような真剣な関わりを繰り返す中で、いつしか、自分が創られ成長していきます。手話を知るということはろう者を知ることであり、ろう者と意思疎通をする人たちのことも知るということです。手話通訳者は技巧的に優れているだけでは良い通訳はできません。自分の技巧に自惚れ、木で鼻をくくったような冷たい通訳には魅力はありません。謙虚に人から学ぶという姿勢が、その通訳者を輝かせるものになります。

これからも日本に良い手話通訳者が育っていくことを期待したいと思います。

小椋　英子

一般社団法人日本手話通訳士協会会長
山梨県立聴覚障害者情報センター職員
1957 年　山梨県生まれ

委員会等活動状況

● 運営委員会

会議開催日時	2009 年 11 月 26 日・12 月 22 日・2010 年 1 月 28 日
審議事項	● 各専門委員会（技術専門、国際専門、市場抜取試験専門、広報専門、教育研修専門）の 11、12、1 月度委員会活動 ● 会員・会費状況、適合確認届出の 2009 年（10 月～12 月）の状況について ● 1GH z 超規制開始時期について ● VCCI 改革について ● テンポラリ会員（VCCI CLUB メンバ）について ● 国際フォーラム、中国 WS について ● 専門委員会 2010 年度活動計画と予算について
決定・完了事項	● 規程説明会開催日、発表プログラムの了承 ● 2010 年度予算立案日程、各専門委員会の活動計画の了承 ● テンポラリ会員（VCCI CLUB メンバ）制度の推進 ● 1GH z 超規制開始時期、規制方法を決定 ● 国際フォーラム開催、発表プログラムの了承 ● VCCI 内規改訂
審議継続事項	● 再入会会員のルールづくり ● 1GHz 超規制について ● テンポラリ会員（VCCI CLUB メンバ）制度立上げ ● 2010 年度予算立案 ● VCCI 内規改訂（継続）

● 技術専門委員会

会議開催日時	2009 年 11 月 19 日・2010 年 1 月 21 日
審議事項	● 2010 年度規程集の改訂内容の項目について規程ワーキンググループから報告を受けて審議した。 詳細は各ワーキンググループ・該当委員会が議論を詰める。 ・運用規程において「試験成績書の作成」を義務づける。 ・技術基準において、通信ポート・1GHz 超放射妨害波について、適用開始時期の明確化、および 1GHz 超放射妨害波についての選択制の導入 ・同上、通信ポート関連の測定器・動作条件の記述明確化 ・同上、試験成績書の記述項目の明確化 ・市場抜取試験に関する規程において、あらたに書類審査による抜取試験の開始等を議論した。 ● 1 月に開催された「規程説明会・技術シンポジウム」の報告書の内容について審議した。

決定・完了事項	● 通信ポート伝導妨害波測定に使用する ISN の回路構成例を技術基準付属文書に記載することを、ウェブサイトを通じて全会員へ通知した（11 月）。 ● 1GHz 超放射妨害波測定について、2010 年 10 月 1 日から適用開始するが、その測定は 2011 年 9 月 30 日まで会員が選択できることを、ウェブサイトを通じて全会員へ通知した（12 月）。
審議継続事項	● 2010 年度「規程集」の改訂内容について（12 月に全会員宛アンケートをウェブサイトを通じて発信し、コメント内容の審議－主として規程ワーキンググループが行う）
報告事項	● CISPR 対応ワーキンググループ ・CISPR 16 関連の情報通信審議会答申の作業班活動のスケジュールが紹介された（CISPR 16-2-1、16-2-2、16-4-2 および答申済みの 16-1-2、16-1-2、16-1-4、16-2-3 について）。 ・9 月に開催されたリヨン（フランス）会議での審議結果の後半について報告があった。プラズマ TV の 30MHz 以下の放射電磁界測定値のラウンドロビンテスト（持ち回り測定）の結果が報告された。 ・ISN を選択するための ISH（Interpretation Sheet：解釈文書）が発行される予定（2010 年 1 月）。 ● 伝導妨害波測定法ワーキンググループ ・通信ポート伝導妨害波測定の実験において、5 種類の実験（例えば、ISN の違い、周辺機器接続がある場合・ない場合、通信速度の違い等）が終了し、技術シンポジウムに向けて実験結果を精査中であると報告された。 ・2010 年度の通信ポート伝導妨害波測定に関する実験計画が報告され、了承された。主なものは、同軸用 ISN、シールド線用 ISN の評価、ISN 回路の違いによる測定結果、実機による通信速度の違いによる結果の評価等。 ・通信ポートに関する実験報告書（外部委託）ができあがり、内容についての説明があった。 ● 放射妨害波測定法ワーキンググループ ・CISPR/A 国内委員会への提案（2 件）の説明を行った。 一つ目はスペアナを使用しての平均値検波の記述、二つ目は 1GHz 超放射妨害波測定で受信アンテナを 1m 以下にする規程があるが、これを 1m 固定とする。 ・2010 年度の 1GHz 超放射妨害波測定についての実験計画が報告され、了承された。 ・VHF-LISN のラウンドロビンテストの結果を取りまとめ中であると報告された。 ● キットモジュール測定法ワーキンググループ ・PCI Express アダプタについて測定基板を使用しての測定が終了し、結果をまとめ中であると報告された。 ・技術シンポジウムで発表する概略が報告された。これに対し、導入部で「なぜキットモジュールか」の説明を追加することとした。 ● 規程ワーキンググループ ・2010 年度「規程説明会・技術シンポジウム」を 2010 年 1 月 8 日（金）午後に機械振興会館にて開催する。 12 月 15 日、全会員に対してアンケートを実施し、コメントを一部国内会員から受領した。次回審議予定であると報告された。

	放射妨害波測定法ワーキンググループおよび伝導妨害波測定法ワーキンググループからの提案について審議した。市場抜取試験専門委員会からの提案は運営委員会に提案する。

● 国際専門委員会

会議開催日時	2009 年月 11 月 26 日・12 月 18 日
審議事項	● 国際フォーラム 2010 について ● 海外ワークショップについて ● 世界各国 EMC 規格調査表の更新
決定・完了事項	● 国際フォーラム 2010 のスピーカーをアメリカ、EU、オーストラリア、韓国、台湾に決定し、12 月 28 日、ウェブサイトにフォーラム案内を掲載した。
審議継続事項	● 12 月 7 日に予定されていた中国・杭州での海外ワークショップが、中国での新型インフルエンザの影響で延期が決定したが、引き続き開催を調整する。 ● 国際フォーラム各国プレゼン資料の翻訳担当が決まり、翻訳作業中。2 月 5 日の委員会開催日に、終日最終翻訳確認作業を行い、内容を確定し、その後ウェブサイトへ掲載する。 ● 世界各国 EMC 規格調査表更新作業。
報告事項	● R&TTE 指令の整合規格リストが 2009 年 12 月 2 日付 OJ（EU 官報）で公表された。その後、12 月 5 日付で修正 OJ が出され、12 月 15 日付で修正部分を含む整合規格リストが OJ に掲載された。2011 年 10 月 1 日まで適用可能な規格は、EN55022:1998、EN55022:1998+A1:2001、EN55022:1998+A2:2003、EN55022:1998+A1:2001+A2:2003 および EN55022:2006 であることが記されている。 ● オーストラリアのマーキングに関する提案文書が発行され、適合マークを RCM マークに統合し、C-Tick/A-Tick マークは廃止すること、表示可能な装置には電子ラベルを認めることなどが提案されている。 ● IEC テルアビブ総会での SMB 会議において、複数の試験法がある場合のレフリー試験方法は各 TC（Technical Committee）または SC（Sub-committee）が必要に応じて定めるという結論となった。 ● オーストラリアのラベリングに関する公告の修正版（2009 年 11 月 12 日付）の資料が示され、原版（2008 年 1 月 25 日付）と違う部分として、battery-powered device、low risk device, medium risk device などの定義追加、適用除外機器の追加などがある。 ● FCC の技術基準に関する官報（2009 年 11 月 25 日付）の資料が示され、FCC は ANSI C63.4-2003 に従った測定方法と ANSI C63.4-2009 に従った測定方法、いずれの場合も受け入れるという内容が紹介されている。ただし、測定結果はどちらの測定方法に従ったものか明確にしなければならない。 ● スイスの EMC 規制は、2010 年 1 月 1 日から、OFCOM（連邦環境運輸エネルギー通信省通信局）が担当局になるという発表があった。

● 市場抜取試験専門委員会

会議開催日時	2009 年 11 月 6 日・12 月 11 日・2010 年 1 月 14 日
審議事項	● 規約規程について ● GHz 帯の市場抜取試験対応について
決定・完了事項	● 規約規程について 市場抜取試験に関わる規程の改定案を審議し、作成した。 運用規程の改定案も審議され、運営委員会に諮った後に提出する。 ● GHz 帯の市場抜取試験対応について 2010 年 10 月より、GHz 帯の VCCI 試験がスタートするので、それに伴い市場抜取試験も実施する。
審議継続事項	● 運用規程 運用規程に追加した試験成績書の作成の件につき、保存期限も記載してはどうか、とコメントがあり、対応を審議した。 ● 通信ポートの市場抜取試験 当面、会員から提出された試験成績書どおりに行うこととする。規程説明会での説明どおりに試験成績書の状況を把握しながら進める。 ● 表示実態調査報告 店頭による表示実態調査結果の報告があり、2008 年と比較すると、「マークあり」製品が増加していた。 VCCI マークは消費者に知らせるものだから、包装箱、ウェブサイト上で知らせるなどを、VCCI として会員に推奨してもよいのでは、との意見があった。 ● 不合格水準対応 ・K 社 製品の適合確認届出は PC の周辺機としてクラス B で届けられ、また、通信機能と充電機能を有するシステムでクラス A としても届けられていた。 製品の主要な用途は、充電機能を用いるシステムなので、クラス A 機器と判定した。 ・S 社 製品の主要な使用形態は、PC へ直接接続か延長コードかで審議した。 その結果、延長コードの使用を制限するのであれば、その旨、ユーザーに知らせるべきとなった。
報告事項	● 試験機関の内部監査 10 月に試験機関の内部監査結果をチェックし、試験成績書作成の運用ルールが明確でないことを指摘した。その後、改善報告があり、内容を確認した。 ● 簡易試験法調査報告書 簡易試験法ワーキンググループから 2 箇所の試験機関で行われた調査結果が報告された。

● 広報専門委員会

会議開催日時	2009 年 11 月 11 日・12 月 9 日・2010 年 1 月 12 日
審議事項	● VCCI だより 95 号校正 ● Q&A について ● 駅広告デザイン ● 展示会出展 ● ノベルティの選定について ● 2010 年度予算について ● VCCI ウェブサイト見直し
決定・完了事項	● VCCI だより 95 号編集完了 ● Q&A をまとめ、ウェブサイトの FAQ に追加掲載 ● 神谷町／秋葉原駅広告デザイン決定（4 月に掲載予定） ● COMPUTEX TAIPEI 2010（2010 年 6 月 1 日～5 日開催）と TECHNO-FRONTIER2010（2010 年 7 月 21 日～23 日）への出展が決定 ● ノベルティを、「消せるボールペン」と「消せる蛍光ペン」のセットに決定
審議継続事項	● 2010 年度予算について ● VCCI ウェブサイトにある紹介ムービーや内容見直し

● 教育研修専門委員会

会議開催日時	2009 年 11 月 24 日・12 月 17 日・2010 年 1 月 22 日
審議事項	● 秋期各研修会でのアンケート結果について ● 2010 年度活動計画について ● 県工業技術センターでのセミナーについて
決定・完了事項	● 1GHz 超放射妨害波測定に関して、NVLAP/A2LA へのフィードバックを日本人アセッサーにお願いする件で、必要資料を提供した。 ● 各研修用テキストについて英語版の準備状況を確認した。 ● 秋期各研修会でのアンケート結果を審議した結果、「座学と実習のバランス」および「プログラムの構成」おのおのについて再考することとした。同時に、受講生が実習において操作する時間を増やす工夫が必要であると報告された。 ● 2010 年度の活動計画が審議され、従来どおり各研修会を春秋の 2 回ずつ開催する予定とした。 ● 適合確認届出の様式について審議し、1GHz 超の放射妨害波測定に適用できる形式とした。
審議継続事項	● 中国 CQC での技術者研修会において座学・実習担当者の割り当てについて継続して人選を審議する。 ● 中国 CQC での研修会で使用する実習テキストの英訳ができたが、著作権契約が未締結のため保留。 ● 1GHz 超の放射妨害波測定コースの座学テキストについて 3 機関実習担当者による集中審議で完成させることとした。
報告事項	● 今年度の受講申込者数は例年に比べて半減した。

● 測定設備等審査委員会

会議開催日時	2009 年 11 月 30 日
審議事項	測定設備等審査ワーキンググループの審査結果を審議した。
決定事項	適合と認定したもの（補足資料請求、コメントを付しての登録証発行を含む） 22 社　電源強度測定設備　9 基 電源ポート伝導妨害波測定設備　8 基 通信ポート伝導妨害波測定設備　25 基 1GHz 超電源強度測定設備　13 基 コメントを付し返却としたもの　なし 次回審議としたもの　なし
会議開催日時	2009 年 12 月 22 日
審議事項	測定設備等審査ワーキンググループの審査結果を審議した。
決定事項	適合と認定したもの（補足資料請求、コメントを付しての登録証発行を含む） 28 社　電源強度測定設備　21 基 電源ポート伝導妨害波測定設備　25 基 通信ポート伝導妨害波測定設備　4 基 1GHz 超電源強度測定設備　8 基 コメントを付し返却としたもの　なし 次回審議としたもの　なし

● 委員会活動報告 略号集

略語	FULL NAME	記事（日本語意）
AMN	Artificial Mains Network	擬似電源回路網
APD	Amplitude Probability Distribution	振幅確率分布
APLAC	Asia Pacific Laboratory Accreditation Corporation	アジア太平洋試験所認定協力機構
AQSIQ	General Administration of Quality Supervision , Inspection and Quarantine of the People's Republic of China	国家品質監督検験検疫総局
CALTS	Calibration Laboratory Test Site	校正試験場
CB	Certification Body	認証機関
CB	Competent Body	有資格者団体
CCC	China Compulsory Product Certification	中国強制製品認証
CD	Committee Draft	委員会原案
CDN	Coupling Decoupling Network	結合／減結合回路網
CDV	Committee Draft for Vote	投票用委員会原案
CEMC	China Certification Center for Electromagnetic Compatibility	中国 EMC 認証センタ
CEN	European Committee for Standardization	欧州標準化委員会
CENELEC	European Committee for Electro Technical Standardization	欧州電気標準化委員会
CMAD	Common Mode Absorbing Device	コモンモード吸収機器
CQC	China Quality Certification Center	中国品質認証センタ
CSA	Classical Site Attenuation	クラシカルサイトアッテネーション
CSA	Canadian Standards Association	カナダ規格協会
DAF	Dual Antenna Factor Method	デュアルアンテナ法
DC	Document for Comment	コメント文書
DoC	Declaration of Conformity	適合宣言書
DOW	Date of Withdrawal	従来の規格を廃止する最終期限
DTI	Department of Trade and Industry	通商産業省（イギリス）
DUT	Device Under Test	被試験素子
ECANB	EC Association of Notified Bodies	EC 通知試験所協会
Ecma	European association for standardizing information and communication systems	欧州（ヨーロッパ）コンピュータ工業会
EICTA	European Information, Communications and Consumer Electronics Technology Industry Association	欧州情報通信技術製造者協会
EMCC	Electro Magnetic Compability Conference	電波環境協議会
EMCAB	Electromagnetic Compatibility Advisory Bulletin	EMC 助言広報
EMF	Electromagnetic Field	電磁界
ETSI	European Telecommunication Standards Institute	欧州通信規格協会
EUT	Equipment Under Test	供試装置
FAR	Full Anechoic Room	電波全無響室
FDIS	Final Draft International Standard	国際規格最終案
GB	guo jia biao zhun（National Standard of China）	中華人民共和国国家標準
ICES	Interference-Causing Equipment Standards	カナダ妨害波規則
ICNIRP	International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection	国際非電離放射線防護委員会
ISM	Industrial Scientific and Medical Equipment	工業科学医療
ISN	Impedance Stabilization Network	擬似通信回路網
LCL	Longitudinal Conversion Loss	不平衡減衰量
MOU	Memorandum of Understanding	覚書
MP(法)	Magnetic Probe	磁界プローブ

略語	FULL NAME	記事（日本語意）
MRA	Mutual Recognition Agreement/Arrangement	相互承認取り決め 政府-政府間：Agreement 民間-民間間：Arrangement 政府-民間間：Arrangement
NCB	National Certification Body	国家認証機関
NICT	National Institute of Information and Communications Technology	情報通信研究機構
NIST	National Institute of Standards and Technology	米国国家標準技術研究所
NP	New Proposal	新提案
NSA	Normalized Site Attenuation	正規化サイト減衰量
NWIP	New Work Item Proposal	NP と同じ
OFDM	Orthogonal Frequency Division Multiplex	直交周波数分割多重通信方式
PAS	Publicly Available Specification	公開仕様書
PLT	Power Line Telecommunication	電力線通信
R&TTE	Radio & Telecommunications Terminal Equipment	無線および電気通信端末機器
RBW	Resolution Band Width	分解能
REF	Reference	基準
RRL	Radio Research Laboratories	電波研究所
RSM	Reference Site Method	基準サイト法
SN	Signal to Noise ratio	信号対雑音比
TF	Task Force	タスクフォース、特別委員会
TG	Tracking Generator	トラッキングジェネレータ
UPS	Uninterruptible Power Supply	無停電電源装置
VBW	Video Band Width	ビデオバンド幅
VSWR	Voltage Standing Wave Ratio	電圧定在波比
WP	Working Party	作業部会

新連載　技術資産を訪ねて　第３回

電信・電話の遺産を訪ねて

常深 信彦

日本の電気の開祖といえば讃岐出身の本草学者・平賀源内先生を思い出される方も多いのではないでしょうか。平賀源内は、摩擦で発生した静電気が放電する様を見せたり、電撃を体験させることのできるエレキテルという装置を制作しており、二台が現存しています。一台は、地元の平賀源内先生顕彰会が所蔵しており、平賀源内記念館に展示されています。箱につる草模様が描かれている残りの一台は逓信総合博物館が所蔵しており、重要文化財に指定されています。

逓信総合博物館には、エレキテルとおなじ仕組みの機能模型があり、ハンドルを回して摩擦し、発生させた静電気が放電する様を観察できます。

日本に電信機が渡来したのは、1854 年に 2 回目の来航をしたペリー使節が持参した江戸幕府への 140 点の献上品中に含まれていたエンボッシングモールス電信機を嚆矢（物事のはじめ）とするようです。この電信機を使って 1855 年に勝海舟と小田又蔵が 13 代将軍徳川家定の前で実際に実験をして見せています。この電信機は、逓信総合博物館に所蔵されており、重要文化財に指定されています。

・平賀源内記念館については、

http://ew.sanuki.ne.jp/gennai/

・平賀源内について（英語）は、

http://en.wikipedia.org/wiki/Hiraga_Gennai/

・逓信総合博物館（日本語）については、

http://www.teipark.jp/

・逓信総合博物館（英語）については、

http://www.teipark.jp/e_about.html

・モールス電信機については、

http://www.oki.com/jp/Home/JIS/Books/KENKAI/n187/pdf/187_R26.pdf

世界最初の海底ケーブルは、1851 年、英仏海峡に敷設されました。1866 年には、大西洋横断海底ケーブルが完成し、世界の海底ケーブル網は徐々に発達を続けていきました。

日本では 1871 年（明治 4 年）に大北電報会社（デンマークの電気通信事業会社）が長崎⇔上海、長

崎⇔ウラジオストックに海底ケーブルを敷設しています。これで日本がヨーロッパとの通信が可能になりました。1872 年には国内の東京⇔長崎の通信路が明治政府により完成しています。関門海峡を渡る区間は海底ケーブルで結ばれました。1906 年（明治 39 年）には東京⇔グアムが海底ケーブルで結ばれ、米国との電信サービスが開始されています。1964 年（昭和 39 年）には太平洋を横断する初めての第一太平洋横断ケーブル（TPC-1）が開通しています。

これら海底ケーブルの敷設に使われた装置やケーブルの一部などが NTT ワールドエンジニアリングマリン株式会社・長崎事業所の敷地内に設けられている赤煉瓦造りの海底線史料館に展示されており、海底ケーブルの歴史に思いをはせることができます。

・海底線史料館紹介については、

http://www.nttwem.co.jp/knowledge/historical/index.html

・海底ケーブルの歴史とネットワークについては、

http://bb.watch.impress.co.jp/column/infra/2001/10/04/

電話は、グラハム・ベルが 1876 年（明治 9 年）3 月に特許を取得し、フィラデルフィアで開催された万国博覧会に出展しています。1877 年（明治 10 年）1 月に開催された公開通話実験にはボストン大学のグラハム・ベル教授のもとで視話法を学びに留学していた伊沢修二とハーバード大学に留学していた金子堅太郎が参加しており、日本語で通話をした最初の日本人になっています。この年に輸出された一号の電話機が日本へ向けて出荷されています。1889 年（明治 22 年）には志田林三郎の指導のもとに東京⇔熱海で通話試験が行われて、その後全国へと展開されていきました。

歴代の電話機は、NTT 武蔵野研究開発センター内にある NTT 技術史料館に展示されています（見学には事前の予約が必要になります）。

・アレクサンダー・グラハム・ベル（日本語）については、

http://www.geocities.jp/hiroyuki0620785/innovator/bell.htm

・アレクサンダー・グラハム・ベル（英語）については、

http://www.alexandergrahambell.org/

・NTT 技術史料館については、

http://www.hct.ecl.ntt.co.jp/exhibit/

1967 年（昭和 42 年）には太平洋にインテルサットⅡ号が打ち上げられ、日米間の衛星通信サービスが開始されています。1980 年代に入ると光ファイバーによる海底ケーブルが開発され、高品質かつ大容量の安定した通信サービスが可能となり、光海底ケーブル網が世界に張り巡らされていきました。現在では国際通信は海底ケーブルが主流となっており、日本の国際通信の約 99%が海底ケーブルを利用しています。

そこで通信衛星は、海底ケーブルの補完的役割となり、日本の通信衛星センターは、茨城衛星通信所と山口通信衛星所の二か所から、KDDI 山口通信衛星センターに 2007 年（平成 19 年）3 月に統合されました。廃止された KDDI 旧茨城衛星通信センターは、2009 年（平成 21 年）に IEEE マイルストーン認定されています。また、残された 2 基の大型カセグレンアンテナは、電波望遠鏡として国立天文台と茨城大学の連携プロジェクトで利用されています。

・インテルサット（国際電気通信衛星機構）（英文）については、

http://www.intelsat.com/

・KDDI・山口衛星通信センターの全景写真は、

http://www.kddi.com/corporate/news_release/2009/0327/sanko.html

・KDDI・山口衛星通信センター・パラボラ館の見学ガイドは、

http://www.icee.gr.jp/sisetudb/prev.php?id=485

・KDDI 旧茨城衛星通信センターの IEEE マイルストーン認定については、

http://www.kddi.com/corporate/news_release/2009/1123/index.html

エンボッシングモールス電信機（レプリカ）
（近代化産業遺産群 33　認定）
KDDI 小山テクニカルセンター・国際通信史料館蔵

エレキテル（摩擦静電気発生装置）
平賀源内先生顕彰会蔵　さぬき市指定文化財

海底線史料館
NTT ワールドエンジニアリングマリン株式会社・長崎事業所敷地内

KDDI 旧茨城衛星通信センター
IEEE マイルストーン認定（2009）

常深　信彦（つねふか のぶひこ）

1943 年	東京都生まれ
1968 年	大阪大学基礎工学部制御工学科卒業
1984 年まで	日立製作所多賀工場で IT 機器の開発に従事
1991 年より	日立工業専門学院で電磁環境関連の教育に従事
1999 年より	日立・技術研修所でプランニングマネージャ
2006 年より	（株）アビリティ・インタービジネス・ソリューションズ 東京支店に勤務
	EMCT 研究会会員
	著書「デジタル回路」「画像エレクトロニクス」など

2010 年度 VCCI 規程説明会・技術シンポジウム開催報告

技術専門委員会

「2010 規程説明会･技術シンポジウム」として規程集に関する変更を主に、技術的な成果の発表を行った。

2010 年 4 月から実施される予定の規程集の改訂内容、CISPR16、CISPR22 に関連した技術基準の見直し、および市場抜取試験に関する規程改訂内容の説明を第１部「規程説明会」とし、第 2 部は、2009 年度における技術専門委員会の活動内容を紹介する「技術シンポジウム」とした。

1.開催要領

日　時：2010 年 1 月 8 日（金）　午後 1 時 30 分～午後 5 時

場　所：機械振興会館　地下 2 階　大ホール

参加者：170 名

内　容：

≪2010 年度　規程説明会・技術シンポジウム　プログラム≫

時間	テーマ		講　師
13:30～ 13:40		ご挨拶	佐竹　省造 一般財団法人　VCCI 協会 常務理事
13:40～ 14:10	規程説明会	**VCCI 協会** **「2010 年度運用規程の改訂内容説明」** 技術基準と市場抜取試験規程の変更項目について説明する	山根　宏 （株）NTT ファシリティーズ 技術専門委員長
		技術専門委員会 **「2010 年度技術基準の改訂内容説明」** 2010 年に発行される技術基準の改訂内容の概要について説明する	
14:10～ 14:30		**市場抜取試験専門委員会** **「市場抜取試験に関する規程の改訂内容」** 付則3　市場抜取試験に関する規程の改訂について説明する	山田　智紀 NEC エンジニアリング（株） 市場抜取試験専門委員
14:30～ 14:45		質疑応答（規程集改訂に関して）	
14:45～ 15:00		休　　憩	

15:00～ 15:20	技術シンポジウム	**技術専門委員会 「CISPR 対応ワーキンググループ」** **「CISPR リヨン会議について、および今後の動き」** CISPR 16、CISPR 22 および CISPR 32/35 の動向を説明する	長部　邦広 （株）電磁環境試験所認定センター 技術専門委員－CISPR 対応ワーキンググループ委員
15:20～ 15:40		**技術専門委員会 「放射妨害波測定法ワーキンググループ」** **「1GHz 超の電界強度測定用試験場・実機測定に関する検討結果」** 1GHz 超のサイト評価法（サイト VSWR 法）および実機測定に関する検討結果を報告する	宮崎　千春 三菱電機（株） 技術専門委員－放射妨害波測定法ワーキンググループ主査
15:40～ 16:10		**技術専門委員会 「伝導妨害波測定法ワーキンググループ」** **「通信ポートの伝導妨害波測定法に関する検討結果」** ISN メーカの違い、通信方法の違い、EUT 単独と周辺機器を接続した場合、ならびに電源ポートへの影響について報告する	・平塚　良秋 FATEC（株） 技術専門委員－伝導妨害波測定法ワーキンググループ主査 ・秋山　佳春 NTT（株） 技術専門委員－伝導妨害波測定法ワーキンググループ委員
16:10～ 16:30		**技術専門委員会 「キットモジュール測定法ワーキンググループ」** **「PCI Express のキットモジュール測定法に関する検討結果」** PCI Express を使った eSATA 用インタフェース製品における測定を実施し、具体的なテストボードの例や、評価結果について報告する	島先　敏貴 NEC エンジニアリング（株） 技術専門委員－キットモジュール測定法ワーキンググループ主査
16:30～ 17:00		質疑応答（全体を通して）	講師全員

挨拶（常務理事）

- 昨年 4 月から一般財団法人 VCCI 協会として新たに発足・運営していること、組織体制は、理事会, 運営委員会, 測定設備等審査委員会のほかに評議員会を設けた体制であること、さらに、VCCI 協会のあるべき姿として、①消費者の信頼を勝ちとり、②会員サービスをより充実し、③委員会活動がより参画・活動しやすく、④一般財団法人として相応しい事務運営を行うこと、を目標にすること
- 2010 年 4 月から通信ポートに関する測定法の適合確認届出が必須となること，また、1GHz 超の放射妨害波測定法に関しては、2010 年 10 月からの適合確認届出の有無を製造会社が選択可能としたこと

規程説明会

2010 年度運用規程の改訂内容（技術専門委員長）

- 運用規程の改訂内容の項目、および技術基準の改訂項目として、1GHz 超の放射妨害波測定の適用が、2010 年 10 月から適合確認届出有無の選択性導入、また通信ポート伝導妨害波測定の適用確認届出は予定どおり 2010 年度 4 月から始まる予定であること
- 試験成績書の作成を明記したこと、1GHz 超の放射妨害波測定において測定用 EUT テーブルの影響実験方法を付属文書で追加記載すること

2010 年度技術基準の改訂内容（技術専門委員長）

・ 目的、適用範囲や妨害波電界強度の許容値（用語の修正）
・ 擬似通信回路網（ISN）の回路構成例の追加
・ 1GHz 超の電界強度測定用試験場の修正
・ 供試装置の試験条件の補則に関する LAN 装置の動作条件の文言修正
・ 1GHz 超の放射妨害波測定において測定用 EUT テーブルの影響実験方法を付属文書で追加記載

市場抜取試験に関する規程の改訂内容（市場抜取試験専門委員）

・ 適合確認の届け出（機器へのマーク表示の確認（マークの有無、形状等））
・ 機器への表示（取扱説明書への記載内容の確認）
・ 取扱説明書等への記載（付属品の取扱い）

技術シンポジウム：2009 年度技術専門委員会各ワーキンググループの活動成果

CISPR 対応ワーキンググループ

2009 年フランスのリヨン会議（開催期間：2009 年 9 月 21 日～10 月 1 日）および米国ヒルズボロ会議で議論された内容、VCCI に関係する CISPR/I および/A に関する概要が説明された。

・ 複数機器で構成するキャビネット型機器の伝導妨害波試験はキャビネットから出る部分の電源コードで行い、個々の機器にある電源コードで試験する必要はないとする ISH 文書（Interpretation Sheet：解釈文書）が発行される。
・ 通信ポートにおける ISN の選択に関しては、「Active」の定義を明確にしたうえで通信ポート上の Active なペア線の数に合わせて ISN を選択するべきとの ISH 文書が発行される予定である。
・ ヒルズボロ会議に関しては、CISPR32（マルチメディアエミッション規格）について議論された。対象機器範囲を「情報技術装置（ITE）、オーディオ機器、ビデオ機器、放送受信機、娯楽用調光装置およびそれらの複合装置」とした。CISPR13 および CISPR22 が適用される機器は、CISPR32 が適用される。また、目的として、無線スペクトラムを保護する適切なレベルを規定し、対象周波数範囲は 9kHz～400GHz であること、クラス A／クラス B の EUT および居住地域と非居住地域の 2 つの環境が考慮されることが報告された。
・ SC-A（Sub-Committee A：A 分科会）の審議動向として、CISPR16-1-1 では適合測定のためのスペアナ使用、16-1-4 では 1GHz 超のセットアップテーブルの評価、16-1-6 では EMI 測定アンテナ校正、16-2-3 では CMAD（Common Mode Absorption Device:コモンモードノイズ吸収装置）装着による放射妨害波試験、16-4-2 では EMC 測定の不確かさが議論されていることが報告された。
・ 国内答申作業として、CISPR22 第 6 版の内容を反映させるための答申作業班を立ち上げることや、SC-A では CISPR16-2-1、16-2-2 の答申を予定していることや 16-1-1、16-1-2、16-1-4、16-2-3 に関して答申済文書の見直しを行う予定であることが報告された。

放射妨害波測定法ワーキンググループ

- 1GHz 超の放射妨害波測定に使用するセットアップテーブルが測定に及ぼす影響に関して検討した。
- 自由空間 NSA（Normalized Site Attenuation：正規化サイトアッテネーション）の理論値と測定値との差異でセットアップテーブルの影響を、市販されている天板の材料を変えて評価した。
- セットアップテーブルが発泡スチロールの場合には、セットアップテーブルがないときとほぼ同じ NSA であり、理論値からの偏差は 2dB 以下であり、発泡体等、密度が低い材質が NSA に対して影響が少ない傾向がある。ただし、密度の低い材質は、強度的に、また熱的に問題がある。
- 材料の比誘電率と NSA への影響度は相関関係があり、比誘電率の低い材料の方が放射妨害波測定に影響が少なく、影響の高い材質は、より低い位置とすることで影響を少なくできる。
- したがって、非導電性テーブルの材質は試験結果に大きな影響を与えるため、その材質の選択には注意が必要である。
- 以上のことを付属文書Ⅶとして追加する。

伝導妨害波測定法ワーキンググループ

- 通信ポート伝導妨害波に関して、情報技術装置の通信ポート伝導妨害波の許容値は、2010 年 4 月から適合確認届出をする装置について、予定どおり適用を開始する。
- デスクトップ PC では、周波数により 8 線（8W）と 4 線（4W）で差異が見られる（準尖頭値で最大 10dB、平均値で最大 18dB）ので、警告文に従った適切な ISN を使用すべきであり、再現性を得るため測定条件はテストレポートに記録する必要がある。
- 同一装置の LAN ポートについて、通信速度（100BASE-TX と 1000BASE-T）を変更することによって測定結果に差異が表れるかどうかを実験した結果、1000BASE-T の方が大きくなる周波数と、100 BASE-TX の方が大きくなる周波数の両方が存在したため、複数の通信速度を持つ通信ポートの伝導妨害波測定を行う際には、妨害波レベルを確認し、代表的な使用例に従って最も高いレベルとなる供試装置の動作条件を決定すべきである。
- EUT の I/O ポート接続の最大構成および最小構成で、どのような差異が生じるか検証した結果、①最小構成、最大構成による測定結果の違いは、EUT に大きく依存し、②電源で FG を取っている装置の場合、I/O ポートに接続した機器からの妨害波が回り込み、測定結果に影響を及ぼすことが確認されたため、測定の再現性を得るため、I/O の接続構成をテストレポートに記録する必要がある。
- 電源ポート伝導妨害波測定において、通信ポートへの ISN 接続有無による測定結果の差異を検証した結果、今回の実験において、周波数によって ISN の有無による影響があることが確認されたため、電源ポート伝導妨害波の測定時には、ISN の接続有無をテストレポートに記録する必要がある。

キットモジュール測定法ワーキンググループ

「PCI Express バス対応インターフェースボード製品のキットモジュール計測方法」に関して、以下の報告があった。

- 2005 年から始まっているキットモジュールプログラムに関して、改めてモジュールメーカおよび装置メーカが妨害波対策を合理的、かつ効果的に進めることのできる設計製造環境の構築を目指すことを趣旨としている背景や経緯を説明した。
- 今回は PCI Express バス対応のインターフェースボードを対象として測定方法も検討し、以下のボードについて測定を行った。
  ①eSATA 用インターフェースボード（3 社）
  ②グラフィックボード（1 社）
- eSATA 用インターフェースボードでは、2 社が妨害波レベル E であり、もう 1 社が妨害波レベル D であったこと、グラフィックボードは妨害波レベル D（DC3V 駆動, DC12V 駆動共）であった。
- 中継基板により、PCI Express I/F ボードの妨害波測定が可能であることを確認し、eSATA 用 I/F ボードはメーカの違いにより妨害波レベルが異なり、また、同じ IC を搭載していてもプリント基板の設計により妨害波レベルが異なる。
- 機能が異なるモジュールでは妨害波レベルのスペクトラムや強度が異なる。

2. Q & A

【第 1 部　規程説明会後の質疑応答】

Q1：試験成績書の項目で、許容値に対して適合・不適合の判断において、マージンを記入することになっているが、0.1dB でも許容値以下ならば、適合と判断して良いのでしょうか。

A1：マージンは考慮せず、適合と判断します。

Q2：試験成績書の項目で、必要であれば、試験した EUT が量産品と同等であることを記述することになっているが、我々試験所としては、サンプルについての記述はできるが、メーカの量産品についてまで記述はできないです。

A2：主に IEC17025 から引用しているが、ご質問の項については試験所としてではなく、メーカの立場での記述として項目を追加したと考えてください。

Q3：市場抜取試験の内容で運用規程の第 13 条で市場にある製品の抜取書類審査で「マークのついている」を削除されましたが、マークがない製品、例えば非会員の製品も抜取試験をするのですか。

A3：量販店等で調査するが、マークの付いている製品だけでなく、明らかに ITE であると判断した場合、マークが貼られていないものも、貼られているものも調査の対象であり、調査の結果、非会員であれば、抜取対象から外します。逆にマークが貼られていて、非会員であれば、違反

となるので、メーカに問い合わせをします。会員の ITE でマークが貼られていない製品については、調査して、会員に問い合わせをし、正当な理由がない場合は、指導・依頼となります。

Q4：1GHz 超について、欧米との整合を取った意味を教えてください。

A4：米 FCC から ANSIC63.4 2009 年版と 2003 年度版のどちらを使用しても良いという正式なアナウンスがあったことと、規程説明で行った EN55022 の 1998 年度版と 2006 年度版のどちらでも良いという意味で、結果的に整合を取ったことになると説明しました。ちなみに、ANSI C63.4 の 2003 年度版は 1GHz 超の測定は、1GHz 以下のサイト評価 NSA を満足すれば、1GHz 超の測定をしてもよい。また、2009 年度版は、サイト評価として、CISPR のやり方も認めるが、1GHz 超の測定も、3m アンテナとの間の床面に 2.4m×2.4m の電波吸収体を敷くだけでよいこととなっています。

Q5：試験成績書の項目で、「試験に使用した測定器」の次に試験所の名称が入っているが、ここにはアンテナ・アンプ・レシーバを記入すればよいのですか。

A5：設備登録申請書によって登録した装置で、実際に使用した測定機器名を記入してください。

【第 2 部　技術シンポジウム後の質疑応答】

Q6：通信ポート伝導妨害波の測定で、警告文のついている ISN を使用しての測定時に、PC からケーブルとして出ている、LAN ケーブルが 8 線（芯）であれば、8 線の ISN を使えばよいのですか。

A6：はい、そうです。

ただし、今回の実験結果として説明した測定条件や測定結果は、警告文に沿った測定条件で実験を行いました。しかしながら、実験結果は EUT の機種によって異なっていたり、周波数によって傾向に差異が生じており、必ずしも想定した結果とはなっていません。この議論は CISPR でも継続して議論していて、結論は出ていません。そこで、本日の発表のまとめで説明しましたように、再現性を得るため測定条件はテストレポートに記録しておいてください。

Q7：1GHz 超の実機測定時、セットアップテーブルの天板の材質について、実機での測定値の違いについて、データなどがあれば教えてください。

A7：残念ながら、セットアップテーブルの天板についての実機測定結果は持ち合わせていないので、2010 年度実験項目として検討していきたい。

Q8：1GHz 超の実機測定時に使用するアンテナのビーム幅の違いで、測定結果に違いがあるかというような実験結果はありますか。

A8：2010 年度実験項目として、取り上げてみたいです。

本日資料として配付した書類の中で、改訂内容比較表の技術基準　技－１ページ「目的・適用範囲」項で規制開始日時の日付が抜けているので、注意してくださいとの説明があった。

なお、VCCI 協会のウェブサイトから質問できる旨を説明して終了した。

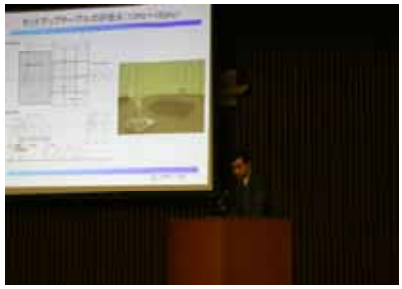
シンポジウム会場風景

佐竹常務理事挨拶模様

山根技術専門委員長説明模様

山田市場抜取試験専門委員説明模様

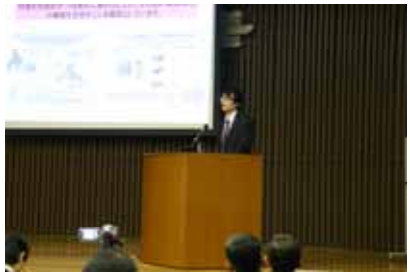
長部技術専門委員説明模様



宮崎技術専門委員説明模様

平塚技術専門委員説明模様

秋山技術専門委員説明模様



島先技術専門委員説明模様

2009 年度市場抜取試験実施結果

市場抜取試験専門委員会

2010年2月9日

計画件数	借上	50	100
	買上	50	

選定時期	選定件数	中止（未出荷など）	応答待件数	試験確定有効件数	試験完了件数	判定待	判定結果		
							合格確定	不合格水準	うち不合格
総　　計	112	10	3	99	92	24	66	2	1
（前月総計）	68	9	0	59	52	12	38	2	0
市場借上試験　計	62	10	3	49	44	13	29	2	1
第 1 四半期	11	4	0	7	7	0	7	0	0
第 2 四半期	19	5	0	14	14	0	12	2	1
第 3 四半期	16	1	1	14	13	3	10	0	0
第 4 四半期	16	0	2	14	10	10	0	0	0
書類審査									
市場買上試験　計	50	0	0	50	48	11	37	0	0
第 1 四半期	12	0	0	12	12	0	12	0	0
第 2 四半期	24	0	0	24	24	1	23	0	0
第 3 四半期	2	0	0	2	2	0	2	0	0
第 4 四半期	12	0	0	12	10	10	0	0	0

事務局だより

1. 会員名簿(2009 年 11 月～2010 年 1 月)

新入会員

会　員	会員番号	会社名	国　名
海外正会員	3159	BC GLOBAL CO.,LTD	KOREA
海外正会員	3149	Bigfoot Networks, Inc.	USA
海外正会員	3154	Bivio Networks, Inc.	USA
海外正会員	3152	DIGNSYS Inc.	KOREA
海外賛助会員	3143	Gefen Inc.	USA
海外賛助会員	3148	Jabil Circuit (Singapore) Pte Ltd	SINGAPORE
海外正会員	3156	KIC SYSTEMS Co., Ltd	KOREA
海外正会員	3140	litl, Inc.	USA
海外正会員	3128	MYTRAK Health System Inc	CANADA
海外正会員	3132	NDIS Corporation	KOREA
海外正会員	3139	NT-ware Systemprogrammierung GmbH	GERMANY
海外正会員	3134	Pliant Technology, Inc.	USA
海外正会員	3146	Power Quotient International CO., Ltd.	CHINESE TAIPEI
海外正会員	3158	SOLiD Technologies, Inc.	KOREA
海外正会員	3157	SOLTECH INFONET. INC	KOREA
海外正会員	3161	Valcretec Inc.	KOREA
海外正会員	3145	WITHINGS	FRANCE
国内正会員	3153	株式会社アイ・ディー・エクス	JAPAN
国内正会員	3160	イー・アーキテクツ株式会社	JAPAN
国内正会員	3141	Camangi Corporation	JAPAN
国内正会員	3155	クラリオン株式会社	JAPAN
国内賛助会員	3142	サクサアドバンストサポート株式会社	JAPAN
国内正会員	3147	トビー・テクノロジー・ジャパン株式会社	JAPAN
国内正会員	3151	株式会社ナビタイムジャパン	JAPAN
国内正会員	3150	株式会社日本エレクトリック・インスルメント	JAPAN
国内正会員	3144	ユニテック・ジャパン株式会社	JAPAN
国内正会員	3136	ワールドピーコム株式会社	JAPAN

社名変更

会　員	会員番号	会社名	国　名	旧社名
海外正会員	2834	Inventec (Pudong) Corporation	CHINA	Inventec (Pudong) Co.,Ltd.
海外賛助会員	2213	TEMPTON Service Plus GmbH	GERMANY	HERBERG Service Plus GmbH
国内正会員	3065	グリッドマーク・ソリューションズ株式会社	JAPAN	グリッドマーク株式会社
国内正会員	729	株式会社ネイクス	JAPAN	デジタルテクノロジー株式会社
国内正会員	17	パナソニック　システムネットワークス株式会社	JAPAN	パナソニック　コミュニケーションズ株式会社

会　員	会員番号	会社名	国　名	旧社名
国内正会員	306	富士電機システムズ株式会社	JAPAN	TDK ラムダ株式会社
国内正会員	2832	株式会社フロントランナー	JAPAN	日本ポラロイド株式会社
国内正会員	545	プラス株式会社	JAPAN	プラスビジョン株式会社
国内正会員	1633	LaCie S.A.	FRANCE	LaCie Japan K.K.

退会会員

会　員	会員番号	会社名	国　名
海外正会員	1276	Avocent International	IRELAND
海外正会員	1218	NEC ディスプレイソリューションズ株式会社	CHINESE TAIPEI
国内正会員	2905	株式会社 ESJ	JAPAN
国内正会員	2004	シャープタカヤ電子工業株式会社	JAPAN

お願い：会社名等を変更された場合は、ウェブサイト内の「様式 9 変更届」をご提出ください。

VCCI 2009年度スケジュール

4月 VCCI測定技術者基礎コース	5月	6月 VCCI通信ポート伝導妨害波測定コース VCCIだより No.93発行
7月 VCCI事業報告会 アニュアルレポート発行	8月	9月 VCCI測定技術者研修会 VCCIだより No.94発行
10月 VCCIアンテナ校正・NSA測定コース VCCI通信ポート伝導妨害波測定コース VCCI 1GHz超放射妨害波測定コース	11月 VCCI 1 GHz超放射妨害波測定コース	12月 VCCIだより No.95発行
1月 VCCI規程説明会・技術シンポジウム	2月 VCCI 1 GHz超放射妨害波測定コース	3月 国際フォーラム2010 VCCIだより No.96発行

2. 適合確認届出状況(2009 年 11 月 ～ 2010 年 1 月)

該当月 / 機器分類名 / クラス		2009 年 11 月			2009 年 12 月			2010 年 1 月		
		クラス A	クラス B	合 計	クラス A	クラス B	合 計	クラス A	クラス B	合 計
汎用コンピュータ(スーパーコンピュータ、サーバなど)		18	0	18	20	0	20	15	0	15
パーソナルコンピュータ	デスクトップタイプなど	0	30	30	0	28	28	2	21	23
	ノートタイプなど	0	34	34	1	27	28	0	41	41
	パームトップタイプなど	0	0	0	0	1	1	0	1	1
その他コンピュータ(オフコン、ミニコン、ワークステーションなど)		6	5	11	6	5	11	3	5	8
周辺・端末装置	補助メモリ(記憶装置)	16	28	44	13	21	34	7	11	18
	プリンタ(印刷装置)	12	11	23	4	7	11	11	6	17
	表示装置(液晶 CRT ディスプレイなど)	8	50	58	10	52	62	8	54	62
	入出力装置(上欄の補助メモリ装置、プリンタ、表示装置を除く入出力装置)	5	31	36	5	38	43	5	34	39
	汎用端末装置(ディスプレイ・タイプライタ端末など)	0	1	1	0	2	2	0	1	1
	専用端末装置(POS、医療用、金融・保険用など)	10	1	11	13	2	15	12	2	14
	その他の周辺端末	9	23	32	23	26	49	16	29	45
複写機		0	1	1	1	1	2	0	1	1
ワードプロセッサ		0	1	1	0	0	0	0	0	0
通信装置	電話装置(ファクシミリ、電話機、ボタン電話装置、PBX 装置など)	3	2	5	6	8	14	0	0	0
	回線接続装置(変復調装置(モデム)、デジタル伝送装置、DSU、ターミナルアダプタなど)	3	0	3	3	0	3	2	9	11
	LAN 関連装置(局用交換機など)	34	15	49	27	13	40	28	11	39
	その他の通信装置	25	1	26	9	4	13	26	10	36
その他(デジタルカメラ、ナビゲータ、玩具、MP3 プレーヤーなど)		24	40	64	5	38	43	11	72	83
計		173	274	447	146	273	419	146	308	454

3. 測定設備等の登録状況

測定設備等の最近 3 か月の新規登録分を以下に示します。

ここに掲載されているものは、原則として登録者から掲載希望があったもののみです。

全設備はウェブサイトに掲載しています。

新規登録測定設備一覧(2009 年 11 月～2010 年 1 月)

No.	会社名	設備名	3 m	10 m	30 m	暗 3m	暗 10m	登録番号	有効期限	設備所在地	問い合わせ先 TEL
6828	Apple, Incorporated	Apple Cupertino EMC Laboratory	-	-	-	-	-	T-1603	2012/7/13	20650 Valley Green Drive, Cupertino, CA 95014, USA	1-408-974-3614
6926	アンリツ株式会社	厚木事業所 EMC センター1 号電波暗室	-	-	-	-	-	G-47	2012/9/6	神奈川県厚木市恩名 5-1-1	046-296-6744
6928	Intertek Testing Services Taiwan Ltd.	844 full-anechoic chamber	-	-	-	-	-	G-49	2012/9/6	11, Ln. 275, Ko Nan 1st Street Shiang-shan District, Hsinchu 300 Taiwan	886-2-6602-2888 ext.757
7007	Bontek Compliance Testing Laboratory Ltd.	Bontek Compliance Testing Laboratory	-	-	-	○	-	R-3131	2011/3/19	1/F, Block East H-3,OCT Eastern Ind. Area, Qiaocheng East Road, Nanshan, Shanzhen, China	86-755-86337020
7008	Bontek Compliance Testing Laboratory Ltd.	Bontek Compliance Testing Laboratory	-	-	-	-	-	C-3474	2011/3/19	1/F, Block East H-3,OCT Eastern Ind. Area, Qiaocheng East Road, Nanshan, Shanzhen, China	86-755-86337020
7009	Hong Fu Jin Precision Electrons (Yantai) Co., Ltd.	10mAC	-	-	-	-	○	R-3132	2012/10/26	1F, Building E07, Yantani Export Processing Zone B Area, No.50 Beijing Zhong Road, Economic & Technological Development Area, Yantai, Shandong, China 264006	86-0755-27706168 ext:29083
7010	Hong Fu Jin Precision Electrons (Yantai) Co., Ltd.	AC2	-	-	-	-	-	G-67	2012/12/21	1F, Building E07, Yantai Export Processing Zone B Area, No.50 Beijing Zhong Road, Economic & Technological Development Area, Yantai, Shandong, China	86-0755-27706168 ext:29083
7011	Hong Fu Jin Precision Electrons (Yantai) Co., Ltd.	CE2	-	-	-	-	-	C-3475	2012/10/26	1F, Building E07, Yantani Export Processing Zone B Area, No.50 Beijing Zhong Road, Economic & Technological Development Area, Yantai, Shandong, China 264006	86-0755-27706168 ext:29083
7012	Hong Fu Jin Precision Electrons (Yantai) Co., Ltd.	CE2	-	-	-	-	-	T-1645	2012/10/26	1F, Building E07, Yantani Export Processing Zone B Area, No.50 Beijing Zhong Road, Economic & Technological Development Area, Yantai, Shandong, China 264006	86-0755-27706168 ext:29083
7031	Compliance Certification Services Inc.	10m Semi-anechic chamber	-	-	-	-	○	R-3135	2012/12/21	No.10-1 Mingkeda Logistics Parks, No.18 Huanguan South RD. Guanlan Town, Baoan District, Shenzhen China	086-0755-29564585
7032	Compliance Certification Services Inc.	Conducted disturbance shieleded room	-	-	-	-	-	C-3478	2012/12/21	No.10-1 Mingkeda Logistics Parks, No.18 Huanguan South RD. Guanlan Town, Baoan District, Shenzhen China	086-0755-29564585

R：電界強度測定設備　C：電源ポート伝導妨害波測定設備　T：通信ポート伝導妨害波測定設備　G：1GHz 超電界強度測定設備

No.	会社名	設備名	3 m	10 m	30 m	暗 3m	暗 10m	登録番号	有効期限	設備所在地	問い合わせ先 TEL
7033	Compliance Certification Services Inc.	Conducted disturbance shieleded room	-	-	-	-	-	T-652	2012/12/21	No.10-1 Mingkeda Logistics Parks, No.18 Huanguan South RD. Guanlan Town, Baoan District, Shenzhen China	086-0755-29564585
7036	株式会社トーキン EMC エンジニアリング	筑波計測センター 2 号電波半無響室	-	-	-	-	-	G-76	2012/12/21	茨城県つくば市花島新田 28-1	029-837-2400
7037	株式会社トーキン EMC エンジニアリング	筑波計測センター 3 号電波半無響室	-	-	-	-	-	G-77	2012/12/21	茨城県つくば市花島新田 28-1	029-837-2400
7038	太陽誘電株式会社	10m 法電波暗室	-	-	-	-	-	G-78	2012/12/21	群馬県高崎市中室田町 5607-2	027-360-8328
7040	Audix Technology (Shenzhen) Co., Ltd.	AUDIX Shenzhen 10m Semi-anechoic chamber	-	-	-	-	-	G-80	2012/10/26	No.6 Kefeng Road, Block 52, Shenzhen Science & Industry Park, Nantou, Shenzhen, Guangdong, China	86-755-26639496
7053	Matrox Electronic Systems	3 meters semi-anechoic room conducted setup	-	-	-	-	-	C-3483	2012/10/26	1055, boul St-Regis, Dorval, Quebec, Canada H9P 2T4	1-514-822-6000 （7749)
7113	Northwest EMC, Inc.	SU02	-	-	-	-	-	G-83	2010/9/30	14128 339th Ave SE Sultan, WA 98294	1-503-844-4066
7114	Northwest EMC, Inc.	EV01	-	-	-	-	-	G-84	2010/9/30	22975 NW Evergreen Parkway, Suite 400 Hillsboro, OR 97124	1-503-844-4066
7115	Northwest EMC, Inc.	OC08	-	-	-	-	-	G-85	2010/9/30	41 Tesla Ave. Irvine, CA 92618	1-503-844-4066
7116	Northwest EMC, Inc.	MN04	-	-	-	-	-	G-86	2010/6/30	9349 W Broadway Ave. Brooklyn Park, MN 55445	1-503-844-4066
7119	National Technical Systems	National Technical Systems	-	-	-	-	-	T-1662	2010/3/31	1536 East Valencia Drive, Fullerton, California 92831	1-714-879-6110 x450
7121	日本ヒューレット・パッカード株式会社	HP San Diego OATS	-	-	-	-	-	T-1663	2010/3/31	16399 W.Bernardo Drive, San Diego, CA 92127-1899 USA	1-858-655-3724
7126	TRAINING RESEARCH CO., LTD.	Pa-Lian Road	-	○	-	-	-	R-3171	2012/11/29	No.15, Lane 530, Pa-Lian Road, Sec.1, HsiChih, Taipei Hsien 221 Taiwan	886-2-26935155
7127	TRAINING RESEARCH CO., LTD.	Pa-Lian Road	-	-	-	-	-	C-3513	2012/11/29	No.15, Lane 530, Pa-Lian Road, Sec.1, HsiChih, Taipei Hsien 221 Taiwan	886-2-26935155
7128	PFU テクノコンサル 株式会社	EMC テストサイト A （CE シールドルーム）	-	-	-	-	-	T-1665	2012/11/29	石川県かほく市宇ノ気ヌ 98-2	076-283-9486
7129	株式会社広島テクノプラザ	大型電波暗室	-	-	-	-	-	G-90	2012/11/29	広島県東広島市鏡山 3 丁目 13 番 26 号	082-420-0500
7130	SGS-CSTC Standards Technical Services (Shanghai) Co., Ltd.	ANECHOIC CHAMBER	-	-	-	○	-	R-3172	2012/3/17	No.588 West Jindu Road, Songjiang District, Shanghai, China	86-21-61915658
7131	SGS-CSTC Standards Technical Services (Shanghai) Co., Ltd.	EMI SHIELDING ROOM	-	-	-	-	-	C-3514	2012/3/17	No.588 West Jindu Road, Songjiang District, Shanghai, China	86-21-61915658
7132	Neutron Engineering Inc.	CB08	-	-	-	-	-	G-91	2012/11/29	1F., No.61, Lane77, Sing-ai Rd., Neihu Dist. 114, Taipei City, Taiwan	886-2-2657-3299
7133	Neutron Engineering Inc.	C01	-	-	-	-	-	T-1666	2012/11/29	No.132-1, Lane 329, Sec.2, Palain Radio, Shijir City, Taipei	886-2-2657-3299
7134	Neutron Engineering Inc.	C03	-	-	-	-	-	T-1667	2012/11/29	B1., No.37, Lane 365, Yang-guang St., Nei-hu District 114, Taipei City, Taiwan	886-2-2657-3299

No.	会社名	設備名	3m	10m	30m	暗3m	暗10m	登録番号	有効期限	設備所在地	問い合わせ先 TEL
7136	コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社	シールドルーム	-	-	-	-	-	C-3515	2012/12/21	東京都八王子市石川町2970	042-660-9201
7138	LG Electronics Inc.	LG Electronics Inc.Degital Media Standards Laboratory	-	-	-	○	○	R-3174	2012/5/13	19-1, Cheongho-ri, Jinwi-myeon, Pyeongtaek-si, Gyeonggi-do, Korea	82-31-610-9607
7139	LG Electronics Inc.	LG Electronics Inc.Degital Media Standards Laboratory	-	-	-	-	-	C-3516	2012/5/13	19-1, Cheongho-ri, Jinwi-myeon, Pyeongtaek-si, Gyeonggi-do, Korea	82-31-610-9607
7144	株式会社アストロノーツ	アストロノーツ登戸EMC サイト（1）	-	-	-	-	-	T-1669	2012/11/29	神奈川県川崎市多摩区登戸 294	044-930-2130
7145	株式会社アストロノーツ	アストロノーツ登戸EMC サイト（2）	-	-	-	-	-	T-1670	2012/11/29	神奈川県川崎市多摩区登戸 294	044-930-2130
7146	株式会社アールエフ・テクノロジー	横浜 3m暗室	-	-	-	-	-	T-1671	2012/11/29	神奈川県横浜市港北区新羽町 472 番地	045-534-0645
7147	富士通株式会社	第一電波暗室	-	-	-	-	-	G-93	2012/11/29	静岡県沼津市宮本 140	055-924-7209
7148	富士通株式会社	第二電波暗室	-	-	-	-	-	G-94	2012/11/29	静岡県沼津市宮本 140	055-924-7209
7149	富士通株式会社	第一伝導測定室	-	-	-	-	-	T-1672	2012/11/29	静岡県沼津市宮本 140	055-924-7209
7150	富士通株式会社	第二伝導測定室	-	-	-	-	-	T-1673	2012/11/29	静岡県沼津市宮本 140	055-924-7209
7151	富士通株式会社	第一電波暗室	-	-	-	-	-	T-1674	2012/11/29	静岡県沼津市宮本 140	055-924-7209
7152	富士通株式会社	第二電波暗室	-	-	-	-	-	T-1675	2012/11/29	静岡県沼津市宮本 140	055-924-7209
7153	International Standards Laboratory	Conduction02	-	-	-	-	-	T-1676	2012/11/29	No.120, Lane 180, San Ho Tsuen, Hsin Ho Road, Lung-Tan Hsiang, Tao Yuan County, Taiwan	886-2-26462550
7154	Neutron Engineering Inc.(China)	DG-CB03	-	-	-	-	-	G-95	2012/11/29	No.3 Jinshagang 1st Road, shixia, Dalang Town, Dongguan, China 523792	86-769-83183000 est.103
7155	Neutron Engineering Inc.(China)	DG-C03	-	-	-	-	-	T-1677	2012/11/29	No.3 Jinshagang 1st Road, shixia, Dalang Town, Dongguan, China 523792	86-769-83183000 est.103
7158	ソニーエンジニアリング株式会社	EMC 2A サイト	-	-	-	○	-	R-3175	2012/11/29	神奈川県藤沢市辻堂新町3-3-1	0466-35-1170
7160	3C Test Ltd	Screend Room SR1	-	-	-	-	-	T-1679	2012/11/29	Silverstone Technology Park, ilverstone Circuit, Silverstone, Northamptonshire, NN12 8GX, UK	44-1327-857500
7161	3C Test Ltd	Semi-anechoic Chamber AC3	-	-	-	-	-	T-1680	2012/11/29	Silverstone Technology Park, Silverstone Circuit, Silverstone, Northamptonshire, NN12 8GX, UK	44-1327-857500
7162	3C Test Ltd	Semi-anechoic Chamber AC4	-	-	-	-	-	T-1681	2012/11/29	Silverstone Technology Park, Silverstone Circuit, Silverstone, Northamptonshire, NN12 8GX, UK	44-1327-857500
7163	Cerpass Technology Corporation	Cerpass Laboratory(Taipei)	-	-	-	-	-	G-97	2012/11/29	2F-11, No.3, Yuan Qu St.(Nankang Software Park), Taipei, Taiwan	886-2-2655-8100
7168	A Test Lab Techno Corp.	TE02(Telecommunication Ports Conducted Interference Mesurement)	-	-	-	-	-	T-1683	2012/11/29	No.140-1,Changan Street, Bade City, Taoyuan County 334, Taiwan	886-3-2710188
7169	A Test Lab Techno Corp.	966 Semi-Anechoic Chamber(TE01)	-	-	-	-	-	G-99	2012/11/29	No.140-1,Changan Street, Bade City, Taoyuan County 334, Taiwan	886-3-2710188
7170	株式会社イーエムシー鹿島	No.10 テストサイト（10m 法電波暗室）	-	-	-	○	○	R-3178	2012/11/29	千葉県香取市虫幡 1614	0478-82-0963

No.	会社名	設備名	3 m	10 m	30 m	暗 3m	暗 10m	登録番号	有効期限	設備所在地	問い合わせ先 TEL
7171	株式会社イーエムシー鹿島	No.10 テストサイト（10m 法電波暗室）	-	-	-	-	-	C-3519	2012/11/29	千葉県香取市虫幡 1614	0478-82-0963
7172	株式会社イーエムシー鹿島	No.10 テストサイト（10m 法電波暗室）	-	-	-	-	-	T-1684	2012/11/29	千葉県香取市虫幡 1614	0478-82-0963
7173	株式会社イーエムシー鹿島	No.10 テストサイト（10m 法電波暗室）	-	-	-	-	-	G-100	2012/11/29	千葉県香取市虫幡 1614	0478-82-0963
7174	テュフズードオータマ株式会社	山梨 EMC センター芦川試験所 第3オープンテストサイト	-	-	-	-	-	T-1685	2012/11/29	山梨県笛吹市芦川町鶯宿 1661	055-298-2141
7175	株式会社富士通ゼネラルイーエムシー研究所	第一電波暗室	-	-	-	-	-	T-1686	2012/11/29	神奈川県川崎市高津区末長 1116	044-861-7897
7176	株式会社富士通ゼネラルイーエムシー研究所	第一シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1687	2012/11/29	神奈川県川崎市高津区末長 1116	044-861-7897
7177	株式会社富士通ゼネラルイーエムシー研究所	第二電波暗室	-	-	-	-	-	T-1688	2012/11/29	神奈川県川崎市高津区末長 1116	044-861-7897
7178	株式会社富士通ゼネラルイーエムシー研究所	第二シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1689	2012/11/29	神奈川県川崎市高津区末長 1116	044-861-7897
7179	Shanghai Institute of Measurement and Testing Technology EMC Lab.	Shielded Room	-	-	-	-	-	T-1690	2012/11/29	No.716 Yi Shan Road, Shanghai, China	86-21-64701390-2018ext.
7181	ソニー株式会社	ソニー西糀谷サイト 小型電波暗室	-	-	-	-	-	G-102	2012/11/29	東京都大田区西糀谷 2-8-15	0438-37-3982
7182	岩崎通信機株式会社	本社 16 号館電波暗室	-	-	-	-	-	G-103	2012/11/29	東京都杉並区久我山 1-7-41	03-5370-5156
7183	岩崎通信機株式会社	本社 16 号館電波暗室	-	-	-	-	-	T-1691	2012/11/29	東京都杉並区久我山 1-7-41	03-5370-5156
7194	Professional Testing (EMI), Inc.	Professional Testing (EMI), Inc., Site45	-	-	-	-	-	T-1692	2012/12/21	11400 Burnet Road Austin, TX, USA 78758	1-512-244-3371
7195	Xerox Corporation	Xerox Corporation Webster EMC Facility	-	-	-	○	○	R-3184	2010/11/30	800 Phillips Rd. Bldg. 199, Webster NT, 14580	1-585-422-9682
7196	Xerox Corporation	Xerox Corporation Webster EMC Facility	-	-	-	-	-	C-3525	2010/11/30	800 Phillips Rd. Bldg. 199, Webster NT, 14580	1-585-422-9682
7197	Xerox Corporation	Xerox Corporation Webster EMC Facility	-	-	-	-	-	T-1693	2010/11/30	800 Phillips Rd. Bldg. 199, Webster NT, 14580	1-585-422-9682
7198	日本ヒューレット・パッカード株式会社	Fort Collins Hardware Test Center	-	-	-	-	-	G-104	2011/8/31	3404 E. Harmony Rd. MS63 Ft. Collons, CO 80528 USA	1-970-898-2271
7199	日本ヒューレット・パッカード株式会社	Fort Collins Hardware Test Center	-	-	-	-	-	T-1694	2011/8/31	3404 E. Harmony Rd. MS63 Ft. Collons, CO 80528 USA	1-970-898-2271
7202	D.L.S. Electronic Systems, Inc.	Site 1	-	-	-	○	-	R-3186	2010/9/30	166 South Carter, Genoa City, WI., 53128, USA	1-262-279-0210
7205	Acme Testing Co.	OATS#2	-	-	-	-	-	T-1695	2010/7/31	P.O.Box 3, 2002 Valley Highway, Acme, WA 98220 USA	1-360-595-2785
7218	日本ヒューレット・パッカード株式会社	HP Roseville 10m Semi-Anechoic Test Facility	-	-	-	-	-	G-105	2011/10/31	8000 Foothills Blvd., Roseville, CA 95747-5603	1-916-785-1471
7219	日本ヒューレット・パッカード株式会社	HP Roseville 10m Semi-Anechoic Test Facility	-	-	-	-	-	T-1699	2011/10/31	8000 Foothills Blvd., Roseville, CA 95747-5603	1-916-785-1471
7228	Bureau Veritas Consumer Products Services	EMI Chamber1	-	-	-	-	-	G-106	2011/7/31	1 Distribution Center Circle, #1 Littleton Massachusetts, 01460 USA	1-978-486-8880
7229	Bureau Veritas Consumer Products Services	EMI Chamber2	-	-	-	-	-	G-107	2011/7/31	1 Distribution Center Circle, #1 Littleton Massachusetts, 01460 USA	1-978-486-8880
7230	双信電機株式会社	双信電機　浅間サイト　電波暗室	-	-	-	-	-	G-108	2012/12/21	長野県佐久市長土呂 800-38	0267-66-1424

No.	会社名	設備名	3 m	10 m	30 m	暗 3m	暗 10m	登録番号	有効期限	設備所在地	問い合わせ先 TEL
7231	ソニーイーエムシーエス株式会社	ソニー長野 EMC テストラボラトリー 3m 法電波暗室 No.2	-	-	-	-	-	G-109	2012/12/21	長野県安曇野市豊科 5432	0263-72-5696
7244	CKC Laboratories, Inc.	Site A	-	-	-	-	-	G-87	2011/1/31	5046 Sierra Pines Drive Mariposa, CA	1-209-966-5240
7245	三菱電機株式会社	大型 EMC 暗室	-	-	-	-	-	G-114	2011/10/31	神奈川県鎌倉市大船 5 丁目 1 番 1 号	0467-41-2262
7246	三菱電機株式会社	小型 EMC 暗室	-	-	-	-	-	G-115	2011/10/31	神奈川県鎌倉市大船 5 丁目 1 番 1 号	0467-41-2262
7271	Intertek Testing Services NA Inc. -ETL-	10m Semi-Anechoic Chamber-Site1	-	-	-	-	○	R-3212	2010/10/31	1365 Adams Court, Menlo Park, CA USA	1-650-463-2900
7272	Intertek Testing Services NA Inc. -ETL-	10m Semi-Anechoic Chamber-Site1	-	-	-	-	-	T-1702	2010/10/31	1365 Adams Court, Menlo Park, CA USA	1-650-463-2900
7273	Intertek Testing Services NA Inc. -ETL-	Screen Room-Site4	-	-	-	-	-	T-1703	2010/10/31	1365 Adams Court, Menlo Park, CA USA	1-650-463-2900
7291	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM RTP Building 065 Semi Anechoic Chamber	-	-	-	-	-	G-116	2010/6/30	IBM Corporation, 3039 Cornwallis Road, RTP, NC., USA	1-919-254-7598
7292	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM 305-1	-	-	-	-	-	G-117	2010/6/30	IBM Corporation, 3039 Cornwallis Road, RTP, NC., USA	1-919-254-7598
7293	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM 305-2	-	-	-	-	-	G-118	2010/6/30	IBM Corporation, 3039 Cornwallis Road, RTP, NC., USA	1-919-254-7598
7294	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM RTP Building 063 Conducted Disturbance at Telecommunication Ports	-	-	-	-	-	T-1705	2010/6/30	IBM Corporation, 3039 Cornwallis Road, RTP, NC., USA	1-919-254-7598
7295	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM RTP Building 065 Conducted Disturbance at Telecommunication Ports	-	-	-	-	-	T-1706	2010/6/30	IBM Corporation, 3039 Cornwallis Road, RTP, NC., USA	1-919-254-7598
7296	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM 305-1 Conducted Disturbance at Telecommunication Ports	-	-	-	-	-	T-1707	2010/6/30	IBM Corporation, 3039 Cornwallis Road, RTP, NC., USA	1-919-254-7598
7297	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM 305-2 Conducted Disturbance at Telecommunication Ports	-	-	-	-	-	T-1708	2010/6/30	IBM Corporation, 3039 Cornwallis Road, RTP, NC., USA	1-919-254-7598
7306	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM Rochester 684	-	-	-	-	-	T-1709	2010/12/31	Dept515, 3605 North Highway 52 Rochester, MN, USA	1-507-253-6201
7307	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM Rochester 684-S	-	-	-	-	-	T-1710	2010/12/31	Dept515, 3605 North Highway 52 Rochester, MN, USA	1-507-253-6201
7308	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM Rochester 040	-	-	-	-	-	T-1711	2010/12/31	Dept515, 3605 North Highway 52 Rochester, MN, USA	1-507-253-6201
7309	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM Rochester 040-S	-	-	-	-	-	T-1712	2010/12/31	Dept515, 3605 North Highway 52 Rochester, MN, USA	1-507-253-6201
7310	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM Rochester 040-F	-	-	-	-	-	T-1713	2010/12/31	Dept515, 3605 North Highway 52 Rochester, MN, USA	1-507-253-6201
7311	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM Rochester 684-E	-	-	-	-	-	C-3568	2010/12/31	Dept515, 3605 North Highway 52 Rochester, MN, USA	1-507-253-6201
7312	日本アイ・ビー・エム株式会社	IBM Rochester 684-E	-	-	-	-	-	T-1714	2010/12/31	Dept515, 3605 North Highway 52 Rochester, MN, USA	1-507-253-6201

No.	会社名	設備名	3 m	10 m	30 m	暗 3m	暗 10m	登録番号	有効期限	設備所在地	問い合わせ先 TEL
7320	ELECTRO MAGNETIC TEST, INC.	Lab E(Electro Magnetic Test, Inc.)	-	-	-	○	-	R-3227	2010/3/31	1547 Plymouth Street Mountain View, California 94043, USA	1-650-965-4000
7321	ELECTRO MAGNETIC TEST, INC.	Lab E(Electro Magnetic Test, Inc.)	-	-	-	-	-	C-3573	2010/3/31	1547 Plymouth Street Mountain View, California 94043, USA	1-650-965-4000
7322	ELECTRO MAGNETIC TEST, INC.	Lab E(Electro Magnetic Test, Inc.)	-	-	-	-	-	T-1715	2010/3/31	1547 Plymouth Street Mountain View, California 94043, USA	1-650-965-4000
7336	インターテック　ジャパン株式会社	鹿島 No.1 オープンサイト	-	-	-	-	-	T-1716	2011/12/31	茨城県神栖市砂山 3 番地 2	0479-40-1097
7337	インターテック　ジャパン株式会社	鹿島 No.1 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1717	2011/12/31	茨城県神栖市砂山 3 番地 2	0479-40-1097
7338	インターテック　ジャパン株式会社	鹿島 No.3 オープンサイト	-	-	-	-	-	T-1718	2011/12/31	茨城県神栖市砂山 3 番地 2	0479-40-1097
7339	インターテック　ジャパン株式会社	鹿島 No.3 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1719	2011/12/31	茨城県神栖市砂山 3 番地 2	0479-40-1097
7340	インターテック　ジャパン株式会社	鹿島 No.7 オープンサイト	-	-	-	-	-	T-1720	2011/12/31	茨城県神栖市砂山 3 番地 2	0479-40-1097
7341	インターテック　ジャパン株式会社	鹿島 No.7 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1721	2011/12/31	茨城県神栖市砂山 3 番地 2	0479-40-1097
7342	インターテック　ジャパン株式会社	鹿島 No.12 サイト	-	-	-	-	-	T-1722	2011/12/31	茨城県鹿嶋市佐田 298-6	0479-40-1097
7358	インターテック　ジャパン株式会社	松田 No.1 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1723	2011/12/31	神奈川県足柄上郡松田町寄 1283	0465-89-2316
7367	インターテック　ジャパン株式会社	松田 No.4 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1728	2011/12/31	神奈川県足柄上郡松田町寄 1283	0465-89-2316
7368	インターテック　ジャパン株式会社	松田 No.5 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1729	2011/12/31	神奈川県足柄上郡松田町寄 1283	0465-89-2316
7379	インターテック　ジャパン株式会社	長野 No.1 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1731	2011/12/31	長野県上伊那郡辰野町横川 3226	0266-47-0522
7380	インターテック　ジャパン株式会社	長野 No.2 オープンサイト	-	-	-	-	-	T-1732	2011/12/31	長野県上伊那郡辰野町横川 3226	0266-47-0522
7381	インターテック　ジャパン株式会社	長野 No.2 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1733	2011/12/31	長野県上伊那郡辰野町横川 3226	0266-47-0522
7382	インターテック　ジャパン株式会社	長野 No.3 オープンサイト	-	-	-	-	-	T-1734	2011/12/31	長野県上伊那郡辰野町横川 3226	0266-47-0522
7383	インターテック　ジャパン株式会社	長野 No.3 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1735	2011/12/31	長野県上伊那郡辰野町横川 3226	0266-47-0522
7394	インターテック　ジャパン株式会社	栃木 No.1 オープンサイト	-	-	-	-	-	T-1736	2011/12/31	栃木県鹿沼市中粟野 870	0289-86-7121
7395	インターテック　ジャパン株式会社	栃木 No.1 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1737	2011/12/31	栃木県鹿沼市中粟野 870	0289-86-7121
7396	インターテック　ジャパン株式会社	栃木 No.2 オープンサイト	-	-	-	-	-	T-1738	2011/12/31	栃木県鹿沼市中粟野 870	0289-86-7121
7397	インターテック　ジャパン株式会社	栃木 No.2 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1739	2011/12/31	栃木県鹿沼市中粟野 870	0289-86-7121
7398	インターテック　ジャパン株式会社	栃木 No.3 シールドルーム	-	-	-	-	-	T-1740	2011/12/31	栃木県鹿沼市中粟野 870	0289-86-7121
7475	Northwest EMC, Inc.	MN05	-	-	-	-	-	G-141	2010/6/30	9349 W Broadway Ave. Brooklyn Park, MN 55445	1-503-844-4066
7476	TUV Rheinland of North America	10M OATS	-	○	-	-	-	R-3267	2010/6/30	12 Commerce Road Newtown, CT 06470	1-249-9123 x118
7477	TUV Rheinland of North America	Newtown 10MOATS	-	-	-	-	-	C-3634	2010/6/30	12 Commerce Road Newtown, CT 06470	1-249-9123 x118

No.	会社名	設備名	3 m	10 m	30 m	暗 3m	暗 10m	登録番号	有効期限	設備所在地	問い合わせ先 TEL
7478	TUV Rheinland of North America	Newtown Shield Room	-	-	-	-	-	C-3635	2010/6/30	12 Commerce Road Newtown, CT 06470	1-249-9123 x118
7479	TUV Rheinland of North America	Newtown Lab	-	-	-	-	-	T-1751	2010/6/30	12 Commerce Road Newtown, CT 06470	1-249-9123 x118
7482	TUV Rheinland of North America	Pleasanton EMC Facility, 5M Chamber	-	-	-	○	-	R-3269	2010/6/30	1279 Quarry Lane Suite A Pleasanton, CA 94566	0-925-249-9123 x118
7483	TUV Rheinland of North America	Pleasanton EMC Facility, 5M Chamber	-	-	-	-	-	C-3637	2010/6/30	1279 Quarry Lane Suite A Pleasanton, CA 94566	0-925-249-9123 x118
7484	TUV Rheinland of North America	Pleasanton EMC Facility, Lab5	-	-	-	-	-	C-3638	2010/6/30	1279 Quarry Lane Suite A Pleasanton, CA 94566	0-925-249-9123 x118
7485	TUV Rheinland of North America	Pleasanton EMC Facility, 5M Chamber	-	-	-	-	-	T-1752	2010/6/30	1279 Quarry Lane Suite A Pleasanton, CA 94566	0-925-249-9123 x118
7486	TUV Rheinland of North America	Pleasanton EMC Facility, Lab 5	-	-	-	-	-	T-1753	2010/6/30	1279 Quarry Lane Suite A Pleasanton, CA 94566	0-925-249-9123 x118
7493	TUV Rheinland of North America	3/10meter OATS	○	○	-	-	-	R-3272	2010/6/30	762 Park Avenue Youngsville, NC 27596	1-925-9123x118
7494	TUV Rheinland of North America	Youngsville, Lab	-	-	-	-	-	T-1755	2010/6/30	762 Park Avenue Youngsville, NC 27596	1-925-9123x118
7495	EMC Integrity, Inc.	EMC Integrity, Inc.	-	-	-	-	○	R-3273	2010/6/30	1736 Vista View Dr. Longmont, Colorado, 80504 USA	1-303-776-7249
7496	EMC Integrity, Inc.	EMC Integrity, Inc.	-	-	-	-	-	C-3642	2010/6/30	1736 Vista View Dr. Longmont, Colorado, 80504 USA	1-303-776-7249
7497	EMC Integrity, Inc.	EMC Integrity, Inc.	-	-	-	-	-	T-1756	2010/6/30	1736 Vista View Dr. Longmont, Colorado, 80504 USA	1-303-776-7249

4. VLAC 認定試験所の認定状況

2010 年 2 月 9 日現在

試験所名	試験場名	認定番号	有効期限	所在地
（財）日本品質保証機構	安全電磁センター	VLAC-001-1	2010/4/3	東京都世田谷区砧 1-21-25 TEL:03-3416-0193
（財）日本品質保証機構	北関西試験センター	VLAC-001-2	2010/4/3	大阪府箕面市石丸 1-7-7 TEL:072-729-2246
（財）日本品質保証機構	師勝試験所	VLAC-001-3	2010/4/3	愛知県北名古屋市薬師寺山浦 53-1 TEL:0568-23-0023
（財）日本品質保証機構	都留電磁環境試験所	VLAC-001-4	2010/4/3	山梨県都留市大幡 2096 TEL:0554-43-5517
（社）関西電子工業振興センター	生駒試験所	VLAC-005	2010/11/30	奈良県生駒市高山町 12128 TEL:0743-78-0283
日立情報通信エンジニアリング（株）	中井 EMC テストサイト	VLAC-007	2011/3/22	神奈川県足柄上郡中井町境 456 TEL:0465-81-5928
インターテック　ジャパン（株）	鹿島サイト	VLAC-008-1	2011/12/31	茨城県神栖市砂山 3 番地 2 TEL:0479-40-1097
インターテック　ジャパン（株）	松田サイト	VLAC-008-3	2011/12/31	神奈川県足柄上郡松田町寄 1283 TEL:0465-89-2316
インターテック　ジャパン（株）	長野サイト	VLAC-008-4	2011/12/31	長野県上伊那郡辰野町横川 3226 TEL:0266-47-5311
インターテック　ジャパン（株）	栃木サイト	VLAC-008-5	2011/12/31	栃木県鹿沼市中粟野 870 TEL:0289-86-7121
日本アイ･ビー･エム（株）	大和ラボラトリオブ EMC	VLAC-009	2011/1/30	神奈川県大和市下鶴間 1623-14 TEL:046-215-2613
富士通（株）	富士通環境試験センター	VLAC-010	2010/11/5	静岡県沼津市宮本 140
(財）テレコムエンジニアリングセンター	松戸試験所	VLAC-011	2011/4/20	千葉県松戸市高塚新田 580-2 TEL:047-391-0077
NEC アクセステクニカ(株)	NEC アクセステクニカ EMC センター	VLAC-012	2010/11/21	静岡県掛川市下俣 800 番地 TEL:0537-22-8339
(株)ザクタテクノロジーコーポレーション	米沢試験センター	VLAC-013	2011/7/3	山形県米沢市八幡原 5-4149-7 TEL:0238-28-2880
三菱電機（株）	EMC 技術センター	VLAC-014	2011/10/31	神奈川県鎌倉市大船 5 丁目 1 番 1 号 TEL:0467-41-2262
テュフ・ラインランド・ジャパン（株）	GTAC	VLAC-017	2010/6/15	神奈川県横浜市都筑区北山田 4-25-2 TEL:045-914-0245
テュフズードオータマ(株)	東京 EMC センター	VLAC-018-1	2011/9/7	神奈川県川崎市麻生区栗木 2-8-20 TEL:044-980-2050
テュフズードオータマ(株)	山梨 EMC センター	VLAC-018-2	2011/9/7	山梨県笛吹市芦川町鶯宿 1661 TEL:055-398-2141
トヨコム商事（株）	湘南 EMC テストラボラトリ	VLAC-019	2010/6/2	神奈川県高座郡寒川町小谷 2-1-1 TEL:0467-74-1298

ローランド（株）	ローランド都田 EMC 試験所	VLAC-020	2010/7/15	静岡県浜松市北区新都田 1-5-3 TEL053-428-5095
（株）ノイズ研究所	テストラボ船橋	VLAC-021	2011/2/26	千葉県船橋市金堀町 69 番地 TEL:047-457-2496
三菱電機エンジニアリング（株）	EMC 西日本センター	VLAC-022	2010/12/24	広島県福山市曙町 3 丁目 29-18
三菱電機エンジニアリング（株）	EMC 東日本センター	VLAC-023	2011/3/26	神奈川県鎌倉市上町屋 325 TEL:0467-41-3920
ソニーエンジニアリング㈱	湘南 EMC サイト	VLAC-024	2011/6/14	神奈川県藤沢市辻堂新町 3-3-1 TEL:0466-35-1170
（株）イシカワ	（株）イシカワ　EMC 研究所	VLAC-025	2011/4/14	神奈川県横浜市鶴見区生麦 2-3-18 TEL:045-500-2255
キヤノン（株）	玉川認定試験所	VLAC-026	2011/11/30	神奈川県川崎市高津区下野毛 3-16-1 TEL:044-844-3847
㈶電気安全環境研究所	横浜事業所　EMC 試験センター	VLAC-027	2011/11/30	神奈川県横浜市鶴見区元宮 1 丁目 12 番 30 号 TEL:045-582-2504
（株）村田製作所	横浜事業所　電磁計測課	VLAC-028	2011/11/30	神奈川県横浜市緑区白山 1-18-1

※「VLAC 認定試験所の認定状況」は、http://www.vlac.co.jp に掲載しておりますのでご参照ください。

推 薦 図 書

若手エンジニアの皆さまへ

書籍名 ：電磁波問題解析の実際
著者名 ：山下　榮吉
出版社 ：電子情報通信学会
発行日 ：1993 年 3 月
ISBN　：978-4885521133

【書評】

本誌 94 号に続き、数値解析による電磁界の計算法に関する書籍を紹介したい。

市販の電磁界シミュレータを使って電磁界解析を行うにあたって、解きたい問題に適したシミュレータを選択し、そのシミュレータに最適な解析モデルを作成するためには、大まかでよいのでシミュレータが内部でどのような計算を行っているかを把握しておいたほうが良い。

本書の発行は 1993 年と若干古い感はあるが、有限要素法やモーメント法等古典的な解析手法から最近流行りの FDTD 法（有限時間差分法）まで広く網羅しており、解析方法を理解するに適した一冊である。

近年、解析対象に特化したかたちで FDTD 法の専門書が多く発行されており、本書を一読した後に、それら専門書をお読みいただくことを推奨する。

【関連図書】

[1]FDTD 時間領域差分法入門：森北出版、著者；橋本　修他

[2]FDTD 法による電磁界およびアンテナ解析：コロナ社、著者；宇野　亨

アラフォーの星 ── バンクーバーオリンピック編

今年はバンクーバーでの冬季オリンピックと南アフリカでのサッカーワールドカップという 2 大スポーツイベントがある。今号が発行されるころにはすでにバンクーバーオリンピックが終わっていることであろう。日本選手の活躍はどうだったのだろうか……（本原稿は 1 月下旬起稿）

今大会、メダルが期待される上村愛子選手、浅田真央選手や、スピードスケート最年少の髙木美帆選手など注目される選手の多くが女性であり、あらためて最近の日本人女性の強さを印象づけられる。

個人的にはスキージャンプの最年長 39 歳の岡部選手に頑張ってほしい。長野オリンピックでの金メダル以降のルール改正で身長 165cm という小柄な岡部選手は最も影響を受けたと言われる。スキー板を 4cm 短くされてしまった。条件にもよるが、スキー板を 1cm 短くするとジャンプの距離が 3m 短くなるらしい。単純に 12m のハンデがあることになる。ルール改正直後は相当苦しんだはずだが、より技術を磨き、見事復活し、今回代表に選ばれた。原田選手、舟木選手、葛西選手などのエースに隠れた存在ながら、長年地道に黙々と努力しているいぶし銀の職人（失礼な言い方かもしれないが）で、まさにわれわれアラフォー世代の星だと思って勝手に応援している。

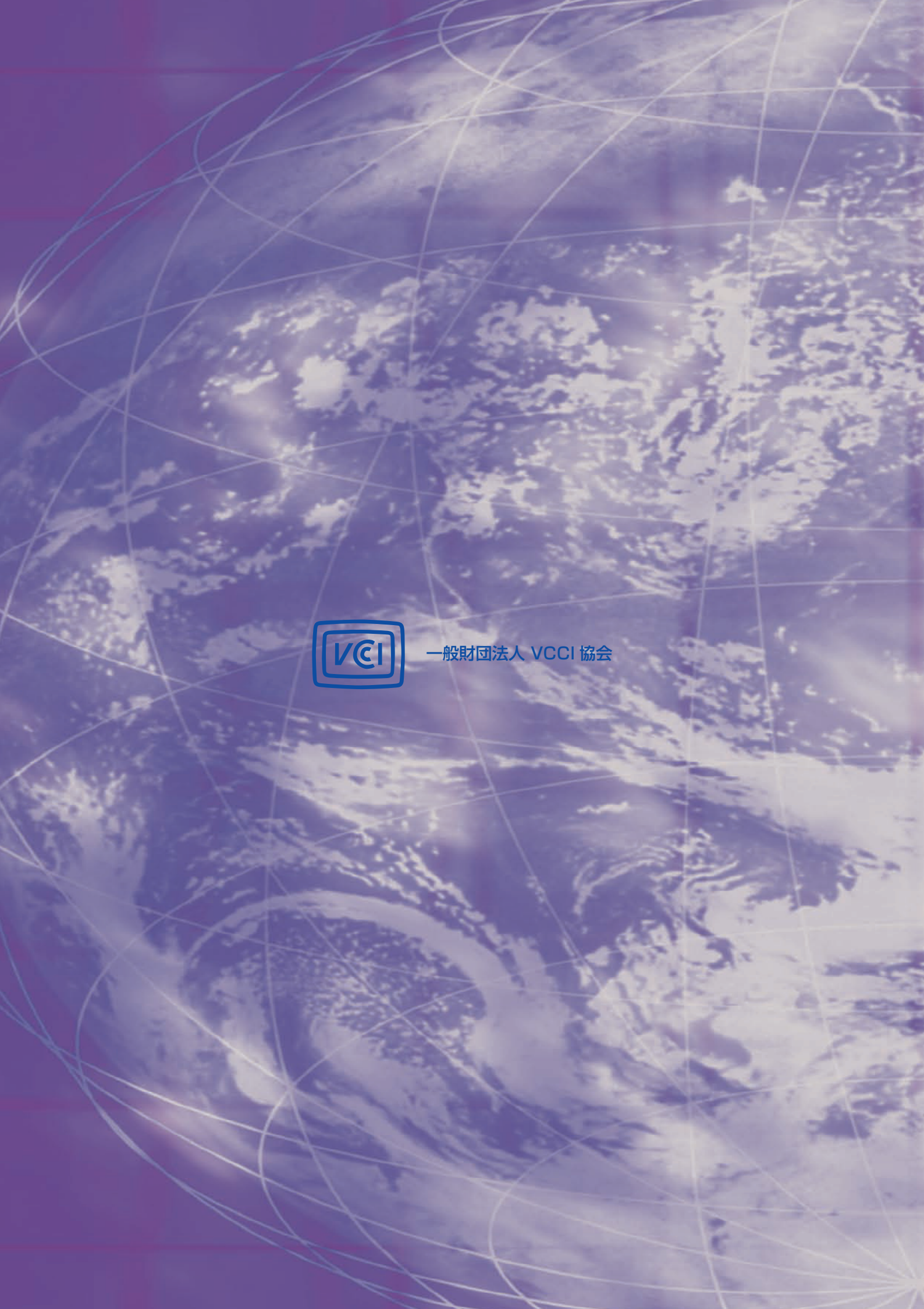
オリンピックで日本選手がメダルを取れたかどうかはわからないが、選手ひとりひとりの頑張りには頭が下がるし、見習うべきものも多いと思う。

サッカー日本代表もワールドカップでぜひ頑張ってほしい。（TA）

無断複製・転載を禁ず

VCCI だより **No.96 (2010. 4)**
非 売 品

発　　行　2010 年 3 月 20 日
編集発行　一般財団法人 VCCI 協会
〒106-0041
東京都港区麻布台 2-3-5
ノアビル 7 階
TEL 03-5575-3138
FAX 03-5575-3137
http://www.vcci.jp


VCCI
一般財団法人 VCCI 協会